

企画趣旨説明（冒頭挨拶 文化資料室 竹内 啓）

それでは、ただいまより、『文化資料室企画講演会』を開催いたします。本日はご多忙の中を大勢の方にお集まりいただき、ありがとうございます。

当文化資料室では、この企画講演会を年に一度開催しております。今回で三年目になります。昨年十一月の「札幌市公文書館基本構想」策定後としては初めての開催となりますので、今回は公文書管理法や行政機関情報公開法について精力的に情報発信されているお二人を講師としてお招きいたしました。

平成22年度 文化資料室 企画講演会 札幌市公文書館に期待すること — 利用者としての視点から —

講師：小川 千代子 氏（国際資料研究所代表）
瀬畑 源 氏（一橋大学大学院博士課程）

現在、札幌市では、昨年の秋に策定した「札幌市公文書館基本構想」を基に今後の公文書館開設準備計画を具体化する作業を進めています。そして、公文書館の母体となる当文化資料室でも開設準備事業の一環として、毎年、公文書館関連の企画講演会を開催しています。

本年度は、来年の春に予定されている公文書管理法の施行、あるいは行政機関情報公開法改正の動きなどにも注目しながら、こうした問題に日頃から活発にご意見を述べられているお二人を講師としてお招きいたします。

本講演会では、新しく誕生する札幌市公文書館に対し、講師のお二人が今何を一番期待しているかなどについて縦横に語っていただきます。

日時：平成22年10月15日（金） 午後2時から5時

場所：文化資料室 2階 市史会講堂（中央区南8条西2丁目）

主催：札幌市文化資料室（TEL. 011-521-0205）

本市では今後、公文書館基本計画、基本設計、実施設計と開設準備を具体化していくこととなりますが、一度このあたりで立ち止まってみて、利用者の側の視点、利用者のための視点から新設の公文書館には何が求められているのか、何を期待されているのかをじっくりと考えてみようという企画であります。

前置きはのくらしいにして早速講演へと移らせていただきます。

まず最初に、小川千代子さんに「札幌市公文書館に期待すること」利用者のための公文書館像」と題した基調講演をお願いし、続いて瀬畑源さんに「札幌市公文書館への希望と課題」という講演をしていただきます。

そのあとにはお二人への質疑時間を設けております。こうした機会にお二人にぜひお聞きしたいことなどがございましたら、積極的にご質問願います。

なお、本日は会場の収容人数の都合上、文化資料室に關わりの深い皆様に限定してご案内を差し上げたことをあらかじめお伝えしておきます。

【注】（1）本講演会の主催者報告は「文化資料室ニュー

ス」第12号を参照されたい。 <http://www.city.sapporo.jp/bunkashiryo/newsletter/pdf/newsletter12.pdf>